

地域の産業に活力を生み出す

商工会では、『地域の先駆者 ニーズに応える 商工会』をスローガンに掲げ、支援機関として事業者の経営や技術の改善のために、金融や経営、労働などの相談・指導を行い、加えて豊かな地域づくりと商工業振興、社会一般の福祉増進など総合的な活動に力を注いでいます。

過疎化が進む本町で、事業承継に悩む事業者に持続可能な操業を支援することが産業活性化の鍵と話す事務局長の太田裕人さん。「社会情勢や時代の変化に伴って、事業者のニーズも多様化しています。事業者ごとに相談体制を整え、中小企業診断士など専門家と協力しながら、経営支援の強化に努めています」と力を込めます。

また、コロナ禍に加え、LINE クーポンや電子決済といったデジタル化のほかインボイス制度など、経営環境の変化に対応を迫られる事業者へ支援体制を整える同会。「事業者に必要な情報を収集して確実に届けたい。そして町内外には、地域の魅力を積極的に発信したい」と太田さんは話し「地域の活力は既存事業者の元気が欠かせない。『廃業』させないように伴走支援を継続し、関係各所と連携を取りながら手厚くサポートしていきたい」と力強く語りました。



川根本町商工会
 ▷本所
 〒428-0313
 静岡県榛原郡川根本町上長尾773-1
 ☎：0547(56)0231
 ▷支所
 〒428-0411
 静岡県榛原郡川根本町千頭1216-21
 ☎：0547(59)2258
 HP：http://kh-s.jp/
 会長：神田 優一

川根本町商工会 検索

高校生がライター
お仕事紹介レレ

経営指導員 中森 亮介 さん



”頼られる存在になりたい!”

川根本町商工会のここがすごい!
 町のイベントや色々なところで支援をしていて、知らないところで町を支えている!

社会人としてのこだわりは?

商工会は、町のさまざまな企業や商店の事業計画や経営方針の作成を支援したり、料理提供の仕方など実際の商売のための指導をしたり、お客さんの利用や売上・利益を伸ばすためのさまざまなサポートをしたりしているそうです。

中森さんが仕事をするうえでこだわっていることは、「お客様の要望に柔軟にお応えする」ことだそうです。川根本町は観光業が多い印象でしたが、地域にはいろいろなビジネスをされている人がいて、さまざまな相談に応えられるよう努力されているのは、すごいと思いました。

高校生ライター わたなべ かい
 川根高校2年 渡邊 快さん (伊豆の国市)



第24回 昔ばなし語り部 まつい



「水川の渡し」
みずかわ わた

そのだ 蘭田 はるさん (上長尾区)



「虫時雨」
むししぐれ

おかお ちずこ 岡尾 智津子さん (静岡市)



「信州猫檀家」
しんしゅうねこだんか

そのだ みつえ 蘭田 光枝さん (上長尾区)



キッズダンスグループ
HAPPY☆STYLE



「恋の代」
こひしろ

おくの えみこ 奥野 恵美子さん (梅高区)



「野守の赤牛」
のもり あかうし

なかはら こ 中原 すま子さん (地名区)

1月21日、川根本町文化会館で、中川根語り部の会「話楽座」が主催した「第24回昔ばなし語り部まつり」が開催されました。会場では感染症対策のため、座席の間隔を開け、マスクの着用をしながら行われました。演目では4名の語り手による講演と、ゲストの岡尾智津子(静岡市)さんによる朗演に会場が聞き入りました。

「話楽座」は、平成11年に地域おこしの一環として発足し、活動メンバーは今も変わりません。副会長の蘭田光枝さんは「自分の気持ちで語ることがコンセプト。物語は語り継がれるもので時代とともに少しずつ変化するから、理屈ではなく感じたままに素直に受け取ってほしい」と語ります。

「恋の代」や「信州猫檀家」、「水川の渡し」など、主に旧中川根と旧本川根に伝わる民話について語り継いでいます。また、このような地元の話話を聞くことでふるさとへの良さを知ってほしいと話します。

特別ゲストには、町内の小学生から高校生までの18名から成るダンスグループ「HAPPY☆STYLE」が招かれ、8曲の音楽にあわせてダイナミックに踊りました。息の合ったダンスと迫力ある子どもたちの姿に会場は拍手で包まれました。